

講演会「看護職からみた精神科医療のこれから」 どのような人材が育てば、当事者にとって利益が生まれるか

精神保健福祉家族会シュロの会会長 植松和光

6月19日(木)午後2時から調布市文化会館で、東京つくし会主催の上記の講演会がありました。講師は、日本精神科看護協会業務執行理事政策企画局長の草地仁史さんでした。

私は、看護職の方からみた精神科病院の話は聞いたことがなかったので、とても興味がありました。

日本の精神医療の現状は、令和5年現在603万人が受診、そのうち約95%が外来で、入院は26万人と5%と年々少なくなってきた。また、入院期間も1年以上の入院患者が平成14年22.5%であったものが、令和5年が15.2%と約7%も減少している。更に、疾患種別が多様化していることが特徴で、気分障害が156万人、統合失調症が78万人とうつ病等の疾患が増えている状況があること。

このように対応する疾患のバリエーションは広がりを見せている。

ただし統合失調症への看護に関しては、さらに専門性の明確化が急がれる。

これからの精神科看護師は、精神疾患患者の若年化によって、急性期の介入だけでなく、予防医学的観点からのアプローチを習得する必要がある。

今後は外来機能を通じた医療サービスのあり方を可視化し、切れ目のない支援が担える看護人材の育成が必要である。としています。

厚生労働省が出した、新たな地域医療構想において精神医療を位置付ける場合の課題等について

精神医療については、これまで、精神障害者の退院促進及び地域移行・地域生活支援、精神科病院における病床の適正化・機能分化や、地域における重層的な支援体制の整備といった施策を推進することで、「入院医療中心から地域生活中心へ」という精神保健医療福祉施策の基本的方策の実現が図られてきた。

今後、2040年頃を見据えると、高齢化の進展等に伴い、入院患者数の減少や病床利用率の低下、入院患者像や疾病構造の変化等が見込まれることから、上記方策に基づく精神医療提供体制の確保・整備が、これまで以上に重視される。

また、精神科医療機関の役割として、救急病棟、急性期病棟、地域ケア病棟（地域移行機能強化ケア病棟）、療養病棟と変化していくと考えられるとしています。今後、私たちも、日本の精神科医療について注目していく必要があります。

8月シュロの会講演会ご案内

親亡き後の当事者のことを考えることはとても大事です。しかし、親が元気なうち必要なことをやっておかなければなりません。今回はそんなことをテーマにした講演会を下記のように開催します。



シュロの会 主催 講演会

障害のある子の「親なきあと」 ～親あるあいだの準備～

講師 親なきあと相談室 主宰 渡部 伸氏

2025年8月17日(日)

13時30分～16時

くにたち福祉会館 大ホール4階

東京都国立市富士見台2丁目38-5



【会場へのアクセス】
左の二次元QRコードを
ケータイやスマートフォンで
読み取ってご利用ください



JR南武線『谷保』駅徒歩10分。

コミュニティバスくにっこ『くにたち福祉会館』下車すぐ

JR中央線『国立』駅より路線バスで『国立高校前』下車徒歩3分

※事前予約不要※

当日100名様まで入場可能

障害のある子の「親なきあと」～親あるあいだの準備～

講師 親なきあと相談室 主宰 渡部 伸氏

主催 精神保健福祉家族会 シュロの会

連絡先 植松 TEL080-1211-6898

資料代 300円

当日の受付開始は13時15分、開場は13時30分です

資料代300円をご持参の上、直接会場にお越しください

当日は書籍販売を
予定しております

精神保健福祉家族会シュロの会は、学習会や交流会などを実施しています。

ホームページ <https://shuronokai.org>

Copyright ©2025 精神保健福祉家族会 シュロの会

ビデオ鑑賞会

ビデオ鑑賞会：統合失調症の回復力を高めるコミュニケーション力

日時： 2025年6月22日13時30分～16時

場所： くにたち福祉会館中会議室

「統合失調症の回復力を高めるコミュニケーション力」 これはNHK厚生文化事業団が各家族会に配布しているもので、3巻あるうちの第1巻です。司会と精神科医・白石弘巳氏の二人で簡潔に進行します。

統合失調症の陽性症状・陰性症状が起きた時、治療(薬物療法・リハビリテーション)～回復期にかけて、家族の心構えや当事者と家族間の対応の方法を学びました。

もう何年(何十年)も前に嵐のような陽性症状期を経験した方々は、私を含めて皆「あの時にこのビデオがあれば…」と無念の言葉が出ていました。また、ある方は「このビデオを皆さんにみてもらいたい」と希望を述べました。私も特に子育て中の親御さんに見てほしいと思います。

私の弟が発病した40年ほど前は、まだ精神分裂病という病名でした。読んだだけでは、一度この病にかかったら最後、治らないイメージにとらわれていました。しかし、もし当時これを視聴していれば、陽性症状のあとに陰性症状に移り、やがて回復期に向かうという病気の先行きが理解でき、暗闇の中に一つの明かりを見出すことが出来たと思います。その頃は遠慮なく思ったことをそのまま当事者にぶつけてしまい、当事者の言葉に「そうじゃないでしょう」と否定から始めたのは最悪で、当事者を追い詰めてしまったと悔みきれません。

大事なのは本人と病気を区別することで、病気のせいでは症状が出ているのであって、病気であってもなくてもその人自身に変わりはないと家族が自覚することだと思いました。

◎統合失調症当事者の自立とは

・できることは自分でする ・できないことは周囲に援助を求めることができる

◎家族は

・当事者が社会とつながっていくための手助けをする ・再発予防のために批判的なコメントを避ける(話をよく聞く、否定も肯定もしない) ・情緒的に巻き込まれすぎない(大袈裟に騒ぎ立てない、自己犠牲はやめる、過保護にならない)

報告者：前田

円・シュロの会サロンの案内

8月・9月 シュロの会サロン ※8月は午前のみです	
日時	◆8月 3日(日) 午前10:00-12:00 (午前のみ) ◆9月 7日(日) 午前10:00-12:00 午後13:30-15:30
場所	くにたち駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ (国立駅高架下・国立駅徒歩2分)
内容	サロンはどなたでもお気軽に参加いただけます。何でもおしゃべり会です。 また、相談時間を設けておりますので、是非お越しください。 相談員は看護師、精神保健福祉士です。 (午前) 交流 お気軽にご参加ください (午後) 家族相談 相談は、事前予約が必要です 植松 ☎080-1211-6898

シュロの会学習会・ミニ交流会のご案内

9月【シュロの会ミニ交流会】	
日時	9月21日（日） 13：30～16：00
場所	くにたち福祉会館 3階中会議室
内容	ミニ交流会は、ご相談を希望される方を中心とした交流会です。悩みや辛いことを抱えていらっしゃる方、是非ご参加お待ちしております。

10月【シュロの会学習・交流会】	
日時	10月19日（日） 13：30～16：00
場所	くにたち福祉会館 3階中会議室
内容	ビデオ鑑賞会「統合失調症の回復力を高める家族のコミュニケーションNO.2」

講演会のご案内

9月講演会	
日時	9月7日（日） 13：30～15：30
内容	テーマ：精神科医のお話「病気への理解と対応について聞いてみよう」
講師	周愛巣鴨クリニック 精神科医 花田 照久さん
場所	中野区 スマイルなかの3階(中野区中野5-68-7)
申込	共催：なかのたんぽぽ会 中野区地域支えあい推進部 予約制 先着40名 中野区すこやか推進センター Tel 03-3367-7788



会員の皆様からのコメントをお待ちしております。
コメントは、家族会・ミニ交流会時やホームページのお問合せメールで
お受けしています。300文字以内でお願いします。（編集部）



中腹までロープウェイ山頂まで3時間初心者でも安心ラクラク登山"の誘い文句に惹かれ日本百名山の一つ日光白根山に登ってきました。スポーツジムで足を鍛え体力年齢まだまだ大丈夫かも、と準備万端のつもりでしたが、思いの他大変、やっとの頂上でしたが途中では多くの可憐な高山植物を見る事が出来ました。又山頂からの絶景に久しぶりに登山の醍醐味を味わってきました。

ロープウェイの山頂駅には、整備された公園や足湯があり、登山しなくても充分楽しめる素晴らしいお山でした。（U）

【編集後記】

「生きがい IKIGAI」を観にに行ってきました。演出家の宮本亜門さんが、能登にボランティアに行ったときに、現地の方に言われた一言をきっかけ制作された映画です。震災と豪雨災害で被害を受けた能登の復興への思いを込めて、被災後の能登で撮影されています。ストーリーは「倒壊した家から救出された信三は、心を閉ざし孤立する。しかし、あることがきっかけで、信三は再び生きることに目を向ける・・・。」主演は鹿賀丈史さん。誰かのためにお茶を淹れるーそんな姿に胸が熱くなる作品でした。（坂井）